

【大学入試改革】を見据えた授業改善

～授業評価から授業改善P D C Aサイクルにつなげる方法と事例を公開します～

弊社ではこれまで多くの企業・団体・教育機関や厚生労働省許認可の求職者訓練の受託事業など人材ソリューションやマーケティング発想による、人材の育成、組織の活性化、経営改善をサポートして参りました。そこで培った実績とノウハウを元に、授業評価アンケート・学校満足度調査を活用した学校改革ソリューションを提供しております。本セミナーでは、そのノウハウを授業改善に焦点をあて、ご紹介させていただきます。

先着15名様限定

【日時】2020年3月13日（金）

16:00～18:00

※15:30より受付開始

【主催・場所】

株式会社 ソファア

<http://www.s-offer.co.jp>

〒160-0023

東京都新宿区西新宿7-18-1

TOMOEビル 5階

TEL:03-6820-0056

【参加対象】 学校法人理事長・法人幹部、
中高の校長・副校長・教頭・
事務長・管理職・教務の皆様

【参加費用】 無料

《セミナーの内容》

1. アンケート実施のポイント

- ☆ 授業評価情報の共有と可視化が決め手
- ☆ その上での教科会運営の強化
- ☆ 必ず設定したい設問項目
- ☆ 大学入試改革を意識した学力三要素の設問項目

2. アンケート分析のポイント

- ☆ 中心化傾向を防ぐ4段階評価
- ☆ 肯定回答と否定回答の割合から改善課題を読み取る
- ☆ 授業の質の保証と標準化
- ☆ 生徒の学力向上に繋がる改善、そうでない改善
- ☆ 数値による分析と自由回答の活用

3. アンケート活用ポイント

- ☆ 総合的満足度と各評価項目との関連こそが重要
- ☆ 課題を把握・共有するための学年会・教科会・研究授業の運営

FAX申込書： FAX:03-5348-0207

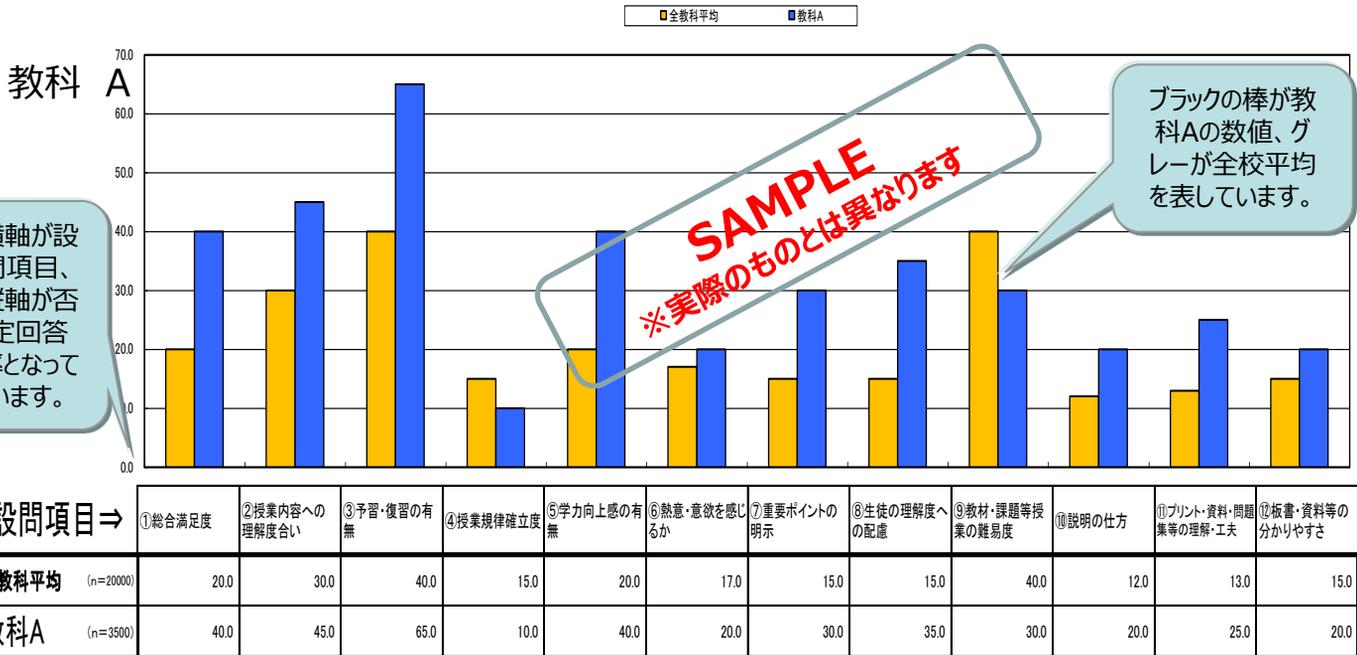
法人名		貴校名	
お名前		お役職	
所在地	〒		
TEL		FAX	e-MAIL @
ご連絡欄： 特にご興味がある点など			

※1校から2名以上ご参加される場合は、FAX申込書をコピー頂きお申込み下さい

ソファー授業評価アンケート分析一例

■ 教科ごとの課題の抽出・分析

各設問ごとに（1：強くそう思う、2：ややそう思う、3：あまりそう思わない、4：全くそう思わない）のうちから、一つ選択し回答してもらいます。その中で、否定回答（＝「3：あまりそう思わない」と「4：全くそう思わない」）した生徒の割合をグラフ化したものです。



■ 上記より読み取れる教科課題の分析 ■

生徒の否定回答者割合を棒グラフ化したものですので、棒が長いほどその教科の課題と捉えます。

しかし、それだけでは、多くの項目が問題に見え、改善のポイントがつかめません。上記グラフでは、ほとんどの項目が全校平均より否定回答率が高く、このままでは何を改善すればよいのか、そのポイントがつかめません。

弊社では、長年多くの学校でアンケート分析をする中で培ってきた分析手法をもとに、全校平均や他教科との比較分析を行い、課題を抽出いたします。

セミナー当日に詳細をお話しますが、課題を明確にすることによって、教科会や研究授業などの取り組みを効果的に運営することができるようになります。

そのことによって授業改善が進み、生徒・保護者の満足度が向上します。その取り組みは、影響力のある保護者から口コミで伝わり、生徒募集にも好影響を与えます。

☆講師 内藤 幹（弊社シニアコンサルタント）

プロフィール

立命館大学法学部卒業。市場調査の矢野経済研究所、経営コンサルタント会社の船井総合研究所を経て、学校経営専門のコンサルタントとなる。学校独自の風土を理解しつつ、なおかつ企業経営のノウハウを生かしたコンサルティング手法には定評がある。以下のようなテーマで活動している。

- ・ A 高等学校「学校経営再建支援」（3年かけて赤字体質からの脱却、繰越金がプラスに転ずる）
- ・ B 中学校・高等学校「募集改革支援」（募集媒体と内容の見直し、エリア戦略の見直しにより定員確保）
- ・ C 大学「附属中高校新設の可否判断」（新設における投資計画と採算分岐点の試算、募集の可否判断）
- ・ D 中学校・高等学校「学校評価および教員能力開発制度（教員評価）の構築」（生徒・保護者・教員の満足度調査を通じ、教育改革P D C Aサイクルの構築と教員能力開発制度（教員評価）の制度設計）
- ・ E 大学「改組改編に伴う市場調査」（介護学科の改廃、理学・作業療法学科および保育学科新設の可否判断）